



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

令和 2年 6月 3日

横浜市立釜利谷南小学校

6月号

校長 田中さくら

水無月 学校再開で再会

季節は梅雨に入る水無月の6月となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月から約三か月の間、休業をしていた学校が、いよいよ再開しました。まだ、分散登校とはいえ、子どもたちが登校してきて、しみりしていた校舎が、子どもたちの声で色を帯びたように明るくなりました。教室での友達との再会、担任との再会の場面では、うれしそうな表情があちこちで見られました。少しずつではありますが戻ってきた日常に、教職員一同、安堵しています。そして、教室に子どもたちがいる当たり前の状況がどんなに幸せなことかをかみしめています。

☆☆新しい生活様式は学校生活でも☆☆

緊急事態宣言が解除されたとは言っても第二波、第三波の心配があり、完全終息にはなかなか到らず、子ども達の命を守るために、また学校が休業になってしまうかもしれません。そんなことが起こらないように提案されている新しい生活様式として、できるだけソーシャルディスタンスをとということで、学校でも様々な工夫をして参ります。

分散登校でも、登校班では班長を先頭に、1列で間隔をとっておしゃべりせずに安全に歩くこと、正門では健康観察票の提示とマスクチェックを受けてから校舎に入ること、忘れたお子さんには、養護教諭が体温測定を行います。こまめな手洗い指導、熱中症予防も兼ねた水分補給のごくごくタイムを設定します。教室の換気や児童下校後の教室、トイレ、流し場等の消毒を徹底します。

もちろん子どもたち自身にも一緒がんばってもらわなければなりません。そこで、6月1日の前半後半それぞれのテレビ朝会では、こんな話をしました。「ソーシャル・ディスタンス」はみんなの命・安全を守るためのマナーです。一人や二人ががんばっても意味がありません。自分の健康と友だちの健康を守るために、みんな一緒がんばることが大切です。例えば、久しぶりに会えた友だちと

① 手をつなぎたい!



いまは、やめよう

② ハイタッチしたい!



いまは、やめよう

③ 肩を組みたい!



いまは、やめよう

④ そばに行きたい!



いまは、やめよう

と思いますよね。仲がよければよいほどそうたくなりますね。でも今は、がまんです。心で、エアでやってください。みんなのがんばりで、きっといつか、いつもの楽しい学校生活が戻ってくると思います。それまでは、みんなの命・安全を守るマナーが、相手を思いやる気持ちになると思って、先生達と一緒にがんばりましょう。

慣れるまでは、不便やさびしさを感じるかもしれませんが、手と手はつなげなくても心はしっかりつながっていくように、お互いの信頼関係、絆を育んでいきたいです。今年度はやむなくできなくなってしまった行事については、今は来年度へのさらに充実したものにするための準備期間と捉えて、そして、時間の短縮や人数の制限などで形を変えざるを得ない行事に関しては、量より質で、中身の濃い、思い出深い活動となるように検討し、子どもたちの成長ファーストは変わることなく、工夫して実施して参ります。どうぞ、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、今後の年間行事予定についてお示しさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、子ども達の安全を最優先にするため、行事によっては、さらに中止や変更も考えられます。その都度、メール配信や学校ホームページで発信させていただきますので、ご確認とご理解、ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。